

学科 学年	D 3	科目 分類	C 言語基礎演習 [C 基演] Basic Practice of C Language	演習 必修	前期 1履修単位	学習教育 目標 B	担当	大庭 勝久 OHBA Katsuhisa
概 要	プログラミングの基礎概念を理解し、初歩的なCプログラミング技術を習得する。P Cでの演習を中心とし、実践的な応用力を身に付ける。授業ごとに、適切な量の演習課題を出し、課題の提出を課する。							
科目目標 (到達目標)	(1) ポインタの概念を理解して、ポインタを用いたデータ参照ができること。 (2) 関数の概念を理解して、ユーザー関数を作成しデータの引渡しができること。 (3) 構造体の概念を理解して、異なる型のデータを一つの集合体として取り扱うことができること。 (4) データ型および型変換について理解し、異なる型のデータを含んだ計算ができること。 (5) C言語の基礎的なプログラミングを習得し、数値演算関数を用いて、初歩的な数値計算（数値積分等）ができること。							
教科書 器材等	「入門ソフトウェアシリーズ1 C言語」河西 朝雄 著（ナツメ社）							
評価の基準と 方法	前期中間試験40%、前期期末試験40%、課題レポート20%として評価する。60%以上を合格とする。							
関連科目	プログラミング入門							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ポインタ1 :ポインタと文字列、ポインタと一次元配列						
第2回		ポインタ2 :ポインタによる配列表現、ポインタと二次元配列、ポインタ配列						
第3回		関数1 :関数とは、値による呼び出し、参照による呼び出し						
第4回		関数2 :一次元配列を渡す、ポインタ配列を渡す、関数プロトタイプ						
第5回		構造体1 :構造体とは、構造体配列						
第6回		構造体2 :構造体の一括代入、構造体へのポインタ						
第7回		データ型1 :データ型、符号付き数と符号なし数、enum型						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		データ型2 :型変換とキャスト						
第10回		記憶クラス :記憶クラス、通用範囲						
第11回		変数と初期化 :静的変数、外部変数、初期化						
第12回		プリ・プロセッサ :プリ・プロセッサとは、マクロ（記号定数）、引数付きマクロ						
第13回		マクロ :マクロと関数、マクロの副作用、数値演算関数						
第14回		ファイル処理 :ファイル処理関数、書式付きファイル入出力						
第15回		文字列処理 :文字列のコピー・連結、比較						
第16回	×	前期期末試験						
オフィス アワー	授業実施日の15:00~17:00、試験の前1週間は曜日を問わない。							
授業アンケート への対応	学生自身に関して、質問等積極的に解決を目指す行動をとることに課題が残った。そこで、BBに質問内容に対する回答を掲載し、疑問点とその対策をクラス全体で共有できるようにすることを予定している。							
備 考	授業に関する質問は、ooba@numazu-ct.ac.jpへのメールでも受け付ける。							
更新履歴	20090327新規							